

## 令和3年度 保育所自己評価表

大地の子こども園

【ねらい】

保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令などを遵守し、保育所を取り巻く社会情勢を踏まえ、その専門性の向上に努め、保育所の望ましい管理運営をするため、今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画に活かすため活用する。

### ①生活の基本（社会人としての心得）

6月は「十分理解している」と「おおむね理解しているが努力が必要」という評価がそれぞれ半分ずつだったが、12月は「十分理解して実施している」という評価が増えた。特に、「人の意見に偏見を持たずに公平に話したり、聞いたりするように心がけを意識している」が増えている。園児にも実施しているように、職員同士の全面受容や共感の大切さを理解し努力していることを評価した。

### ②職務の基本（理念実現への意欲と関心）

「園の理念・方針を理解し使命感を持って職務を遂行している」と「十分理解している」「おおむね理解しているが努力が必要」が半々ぐらいで、組織の役割や職務を遂行する気持ちが積極的になるように意識づけが必要と感じたため、研修等で取り組んでいきたい。研修や会議の前に法人理念を唱和しているが、保育のやりがいを感じられるように日頃の保育のPDCAを共有することを大事にしたい。

### ③社会性（協調・協働）

「十分理解している」と「努力が必要」が約半々の結果から、相手への思いやりは十分だが「自分の意見を持つ」という評価に「努力を要する」が多い。チームワークは良いが相手への気遣いで遠慮もあると思う。お互いに意見を伝えるのは大事なことなので、言葉や態度を考えながら伝えられると良い。

### ④教育保育の基本・子どもの発達支援

コロナ禍の影響で行事等が中止になったり、地域で子育てをしている家庭へ交流の場が設けられなかったりという中で自己評価チェック表なので、教育・保育が反映されていない箇所が多い。「養護」と「5領域の教育」を保育計画に取り入れ、「10の育ち」を目標に、小学校へと繋げている。

子どもたちの「全面受容、共感、ハグ（大好き）」を三本柱に大人が子供の心の基地になり、安心して楽しく子ども時代を過ごせるように、人的・物的環境を工夫して、努力していることが分かる。職員一人ひとりが、子ども一人ひとりをしっかり観察し、話を聞いたり丁

寧に関わり褒めたりすることで、たくさんの笑顔や可能性を引き出している。怒られるのが多かった子ども時代だったのか、良いも悪いもありのままを受け入れられ、見守られた楽しい子ども時代だったのか。愛おしい子どもたちへの保育は自ずとみな決まっている。保育理念「自己肯定感の育成」を目指して、愛ある空間で教育・保育をしていることを評価する。

#### ⑤教育保育計画と内容

主任保育士を中心に定期的な進捗確認、ケース会議等を通して随時指導、助言を行い必要に応じて見直しを行っている。保育の活動内容は、子どもの心の育ちや意欲に配慮し、個人や集団に合わせた教育保育が行われた。その中で、子どもが興味関心を示さない場合は、活動内容を改善し、保育環境を整えた。保育理念を実践するために職員は、園児の全面受容や共感する事、大好き保育の実践で安心感と信頼関係を築き自信のある子を育むことを意識した。経験の浅い保育士と中堅、ベテラン保育士をクラス担当のペアとして配置し指導、助言、知識の継承を行っている。

こどもの発達支援については、各クラスのエピソード事例を園内研修で発表した後、他の職員の意見や感想をフィードバックしてもらうことで保育の幅や、奥深さが広がり、保育の楽しさを改めて再確認することが出来た。コロナ禍の影響で、小学校や連携園との会議等が中止となり、双方の教諭との積極的な意見交換の場（オンライン）が必要と感じている。

保護者支援については、保護者と積極的に関わることで園長を始め職員への意見・要望を直接伝える保護者もいる。また、園内研修の内容を保護者に分かりやすく伝えることで、感想や意見を聞くことができ職員の保育の原動力となっている。子育て支援として毎週2日に限定して「親子子育てひろば」を開設し、地域と関わる事業を展開している。コロナ禍で開催する機会はなかったが、過去に子育てひろばを利用した親子が実際に入園するケースもあったことから、地域と交流を図る重要な事業の一つとして実施している。

#### ⑥教育保育を支える組織的基盤

職員の資質向上への取り組みは、2022年度も工夫し積極的に行う。マニュアルの読み合わせや共通理解を図ることで、全職員の考え方やとらえ方に違いがないようにする。マニュアルですべて事足りるわけではないが、様々な人々が集まる組織では全職員が一定の水準に保つようにし、保護者とも共有していく必要がある。

法人理念「人々の幸福な人生に貢献する」に沿うように園児・保護者・職員の幸せを目指し、気軽に意見を出し合える風通しの良い職場を職員全員で目指していく。安全・安心の教育・保育の提供と感謝に幸せがあることを第一義に、今後も研修を重ね職員の資質と専門性の向上に努めていく。